

国民に力を。 議会に力を。 安心安全が基本。

立憲民主プレス号外 2021.7.15



立憲民主党埼玉県第1区総支部長 たけまさ 公一

立憲民主編集部

〒102-0093

千代田区平河町2-12-4 ふじビル3F

Tel.03-6811-2301 Fax.03-6811-2302

goiken@cdp-japan.net

<http://cdp-japan.jp>

連絡先 立憲民主党埼玉県第1区総支部

〒330-0074

浦和区北浦和3-6-11 松本ビル2F

Tel.048-832-3810 Fax. 048-832-3846

voice@takemasa-k.jp

<http://takemasa-k.jp>

消費税5%引き下げ公約検討へ

6月25日、立憲民主党枝野代表は衆議院選挙公約に消費税率5%引き下げを盛り込むことを検討するよう指示を出したと報じられました。

昨年2月に行われた立憲民主党党大会前の全国代議員会議で、たけまさ公一から「野党から提案のある5%引き下げなど消費税の議論を党内で行うべきである」と提起をし、昨年3月には「消費税率引き下げも選択肢」との代表発言があり、党内でも議論が進められてきました。

私からは、「ヨーロッパ型の食料品ゼロ%税率であれば、所得の少ない方も消費税の影響を受けることはない」と合わせて提案を行いました。

もちろん、コロナ禍で医療費の支出などが増えていきます。その財源の手当ても考えなければなりません。ただし、コロナ禍にあって一律に課税される消費税だからこそ時限的な引き下げが必要であると考えます。

消費税の税額の決め方や納税の方法について

消費税の納税については、所得税法人税同様前年度の納税額（売り上げ、所得など）に準じて納税（予定納税）されます。

景気が落ち込んだ時、コロナ禍のような危機が訪れた時、前年度ベースでの納税を求める方法は納税者に過重な負担を及ぼすものです。納税のオンライン化が加速度的に進んだ今、現年課税が検討されている個人

住民税も含めて転換を図るべきと考えます。

また、分割納税の回数も年に最高11回となっていますが、納税額により年1回までと幅があります。納税回数については年1回から年11回まで選択できるようにすべきではないでしょうか。

さらに、この1年でコロナ理由の国税庁納税猶予は、32万件、1兆5000億を超え、前年比約22倍の額で消費税が半分以上。1年限りの猶予幅の延長が必要です。



法定福利費の引き下げを、棚上げを

衆議院本会議場での代表質問で「法定福利費（医療保険料、年金保険料など経営者が社員分の半分を負担）の支払いに経営者が銀行から借金している」事実を取り上げたことがあります。

法定福利費は年々引き上げられ、企業経営に重くその負担はのしかかっています。

これまでも、法定福利費を減らす提案は野党から何度も行われていますが実現していません。コロナ禍の

厳しい経営状況において法定福利費の引き下げ、あるいは棚上げを求めます。

コロナ対策は与野党協議を

昨年2月の全国代議員会議で、私から「コロナ対策は与党も野党もない。与野党協議を」との提案を受け、昨年3月から「新型コロナウイルス対策政府・与野党連絡協議会」が開催されました。昨年は、計22回開催されました。

この間、国民一人当たり10万円の特別給付金の支給、PCR検査の拡大、ひとり親家庭の児童に対する特別給付金の支給、中小企業の休業支援給付金支給、雇用調整助成金の支払限度額の引き上げや延長等が政府・与野党協議にて決められました。

しかし、今年になって開催されたのは1月に4回だけです。いくら野党が求めても、開催に政府・与党が応じなくなったからです。もちろん、国会での与野党対立が背景にあっても「コロナ対策は別」として、歩み寄りが政府・与党には求められました。

国会を開いて説明を、議論を

会期延長3か月の野党からの申し出もゼロ回答で、国会を閉会してしまいました。東日本大震災の時は民

主党政権が70日間国会会期を延長して、政府与野党で震災復旧復興にあたったというのにです。

そのため、一部の人だけでオリンピックについて「スポンサー枠を除き観客1万人。飲酒の検討」を決めたために、世論の批判があがるや「会場での飲酒は禁止」と決めるなど「朝令暮改」ぶりです。

また、赤木ファイルの公開を受けて、亡くなられた近畿財務局赤木さんの夫人からは「赤木ファイル原本の裁判への提出」が求められました。

国民に正しい情報を届けるためにも、国会を開いて追加経済支援策を、水際対策を、ワクチン情報等、の説明議論が必要です。

埼玉県第1区総支部長 たけまさ(武正) 公一



1961年生まれ。うし年。B型。大東3丁目在住。妻と一女一男。木崎小・木崎中・浦和高校・慶應義塾法学部政治学科卒業。松下政経塾出身。1995年埼玉県議初当選。

2000年衆議院議員初当選、以後6期務め外務・財務副大臣・衆院憲法審査会会長代理を歴任。2017年に議席を失うが国民主権の理想を掲げ捲土重来を期す。

立憲民主党

The Constitutional Democratic Party of Japan

事業者を守る

「持続化給付金」の再給付を!!



立憲民主党は3月19日持続化給付金再支給法案を提出、またコロナ特別給付金、子育て世帯給付金の支給も求めています。そのためにも国会を開いて補正予算の審議を!



コロナ特別給付金
約2700万人を対象に1人につき10万円の給付

子育て世帯給付金
児童一人当たり5万円の給付

立憲埼玉1区ボランティア募集中!



たけまさ公一と共に政治を変えるアクションを起こしませんか。皆さんのできるやり方で少しづつ。



←ボランティア活動の詳細、お申込み方法は公式サイトをご覧ください。



イベントのご案内 新型コロナウイルス感染防止のための対策を取り開催します。感染拡大の影響に伴い開催中止・延期となる場合があります。お申込み方法など詳細は公式サイトをご覧ください⇒



● **第204回たけまさ公一と語る会**
7/25 Sun. 15:30~ 浦和コミセン

● **地域懇談会**

7/17 Sat. 14:00~ 岩槻区 ワッツ3F

7/31 Sat. 14:00~ 見沼区 片柳コミセン

8/7 Sat. 14:00~ 緑区 プラザ・イースト2F

● **ONLINEたけまさ公一と語る会**
毎月第1第3金曜日21時よりツイキャスにて配信中!

たけまさ公一SNS

